

令和4年産モモの生育状況と収穫日予想（6月6日）

果樹試験場かき・もも研究所

担当 堀田

TEL 0736-73-2274/FAX 0736-73-4690

【概況】

前回予想（5月16日）以降の平均気温は、5月4半旬は平年よりもやや低く、5、6半旬はやや高く推移しました（図1）。降水量については、5月4、5半旬には降雨がなく、6半旬には67mmの降雨がありました。果実肥大については、所内「白鳳」調査樹の満開60日後時点の果実側径は41.7mmであり、近10年平均比約95%です（図2）。「白鳳」満開60日後時点（6月3日）の胚乳長から推定される収穫始めまでの日数は約32日であり（図3）、収穫始めは近10年平均より1日遅い7月5日頃と予想されます（表1）。（前回の予想より2日遅くなっています。）また、産地（JA紀の里）の収穫始め（目揃え日）は表2のとおり予想されます。

【生産対策】

本年は樹によって開花期や着果状況にばらつきがみられます。そのため、収穫期にも樹によりばらつきが出ることが予想されるので、若採りや採り遅れに注意が必要です。

モモの根は耐水性が弱く、排水不良園では樹勢が低下し果実品質不良や渋果の原因となるため、園地の排水対策が重要です。一方、乾燥が続いた場合、果実肥大や新梢伸長の抑制を招くため、晴天が続くようなら5～7日間隔で20mm程度のかん水を行います。ただし、収穫期のかん水は糖度を低下させるため、かん水量を控えます。

糖度の高い果実を生産するには、樹冠内部まで十分に光が届くように管理することが重要です。特に着果の少ない樹では新梢伸長が旺盛となる可能性があります。樹冠内を暗くするような、主枝の背から発生した強い新梢は、主枝の日焼けを防ぐため20cm程度残して摘心します。曇雨天が多い場合には、反射マルチを早めに敷くなどの対策を行います。今後の気候次第で収穫期が前後することも考えられますので、果実生育を見ながら除袋等の作業が遅れないように注意します。

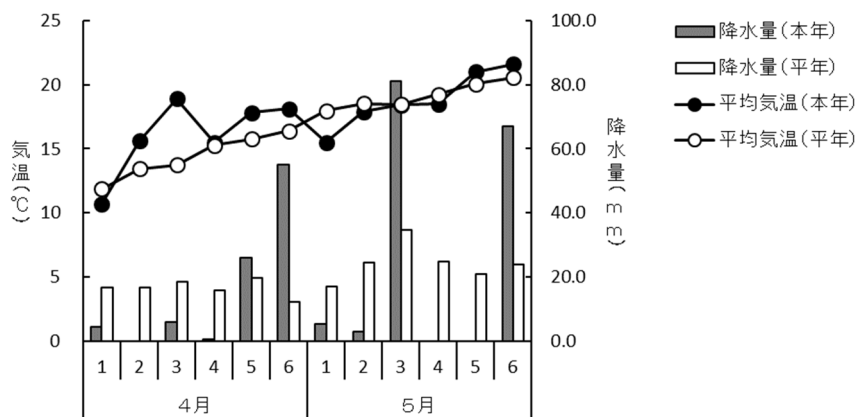


図1 気温および降水量の推移（かき・もも研究所データ）

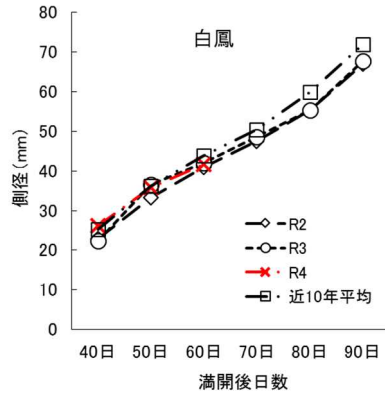


図2 所内「白鳳」調査樹の果実肥大

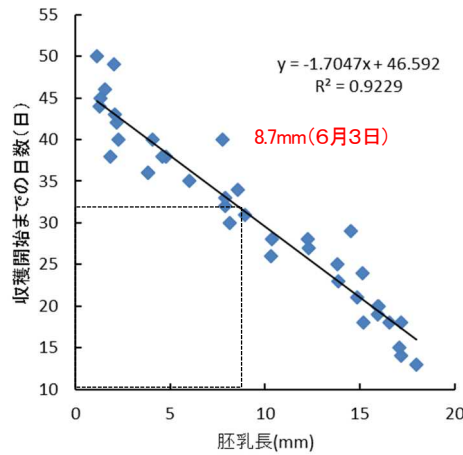


図3 所内「白鳳」における胚乳長と収穫始めまでの日数

表1 「白鳳」開花盛期から収穫始期までの所要日数と収穫予想(かき・もも研究所)

	開花盛期	収穫始期	所要日数
令和4年	4月4日	7月5日	92
令和3年	3月27日	7月2日	97
令和2年	3月31日	7月3日	94
令和元年	4月3日	7月2日	90
平成30年	3月30日	6月27日	89
近10年平均	4月2日	7月3日	91.5

表2 モモの収穫始め(JA紀の里の目揃え日)と収穫予想(6月3日現在)

	平成29年	平成30年	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年	近10年平均	令和4年 (予想日)
日川白鳳	6月20日	6月13日	6月17日	6月18日	6月14日	6月17日	6月18日
八幡白鳳	6月26日	6月18日	6月23日	--	6月19日	6月22日	6月23日
白鳳	7月3日	6月25日	7月1日	7月2日	6月25日	6月30日	7月1日
嶺鳳	7月10日	7月3日	--	7月10日	--	7月8日	7月9日
清水白桃	7月13日	7月6日	7月10日	7月16日	--	7月12日	7月13日
川中島白桃	7月25日	7月17日	7月22日	7月24日	7月19日	7月22日	7月23日

注) 収穫始めの予想は、所内「白鳳」の収穫予想とJA紀の里の過去の収穫目揃え日との比較から求めた。